

平成28年第4回

小中学校組合議会定例会会議録

開催日 平成28年11月17日

南あわじ市・洲本市小中学校組合

平成28年第4回 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会

平成28年11月17日（木）

午前10時10分 開議

議事日程（第1号）

- 日程第1. 会議録署名議員の指名
- 日程第2. 会期の決定
- 日程第3. 認定第1号 平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第4. 議案第6号 平成28年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）
- 日程第5. 一般質問

会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 認定第1号

日程第4 議案第6号

日程第5 一般質問

出席議員（8名）

2番	萩原宗治君	3番	柳川真一君
4番	岡崎稔君	5番	木下義寿君
6番	中島義晴君	7番	多田宗儀君
9番	吉田良子君	10番	小島一君

欠席議員（2名）

1番	山下裕次君	8番	阿部計一君
----	-------	----	-------

事務局出席職員職氏名

教育総務課長	山見嘉啓君
教育総務課課長補佐	坂田真由美君

説明のため出席した者の職氏名

管理者	中田勝久君
副管理者洲本市長	竹内通弘君
副管理者南あわじ市副市長	川野四朗君
組合教育長	岡田昌史君
洲本市教育長	河上和慶君
会計管理者	堤省司君
教育次長	藤岡崇文君
学校教育課長	廣地由幸君

午前10時10分 開会

○議長（小島 一君） 開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日、平成28年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会が招集されましたところ、議員並びに執行部各位には、公私何かと御多用のところ御出席いただき、ここに開会の運びとなりましたことを心から厚く御礼を申し上げます。

さて、本日付議されます案件は、平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定、平成28年度一般会計補正予算であります。

議員各位には、慎重御審議の上、適切なる御決定を賜りますようお願い申し上げ、開会に当たっての挨拶といたします。

続いて、管理者 南あわじ市長 中田勝久君より挨拶がございます。

○管理者（南あわじ市長 中田勝久君） 皆さん、おはようございます。

秋も深まり、日によっては冷え込む日がふえてまいりました。皆さんには御自愛のほどをお祈り申し上げる次第でございます。

きょうは、平成28年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を御案内申し上げましたところ、何人かの欠席はございますが、このように開催されましたこと、うれしく思う次第でございます。

提案いたす案件は、今も議長のほうからお話がありましたが、認定第1号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定、これにつきましては、監査委員のほうから、審査結果ということで、予算の執行経過、会計経理の処理及び簿冊証拠書類の整理保存並びにその他、事務の執行状況は良好であり、学校組合の運営は適正に行われているものと認めるということで、このようになっております。

それから、次は、議案第6号、平成28年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）でございます。これは、小学校の空調工事の入札減によるものでございます。どうぞ慎重審議、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。

て、冒頭の御挨拶にかえたいと思います。

○議長（小島 一君） ただいまの出席議員は8名であります。

定足数に達しております。

よって、平成28年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を開会します。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

直ちに日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第86条の規定により、議長より指名します。

2番 萩原宗治君、3番 柳川真一君にお願いをいたします。

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

今期定例会の会期は、本日1日間にしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間に決定しました。

日程第3、認定第1号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

4番 岡崎 稔君については、監査委員ですので、退席を求めます。

済みません、いつもおるそうでございますので、申しわけございません。訂正しておわび申し上げます。今の発言を撤回いたします。今議会については、監査委員も同席するということでございますので、よろしく申し上げます。

本案について、提案理由の説明を求めます。

教育次長 藤岡崇文君。

○教育次長（藤岡崇文君） ただいま上程いただきました認定第1号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計決算の認定について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件につきましては、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の審査意見をつけ、議会の認定に付するものでございます。

事業及び決算の概要を御説明申し上げます。

本年度についても、次世代の人材を育てる教育を基本目標に、六つの重点課題を掲げ、自立した社会の一員としての基礎を培う場として、確かな学力や学ぶ意欲、共生する豊かな心の育成を目指しました。

平成27年度は、夏季の猛暑による学習環境の改善を目的に、中学校の空調設備設置工事を実施し、さらなる学習環境整備の充実を図りました。

こうした結果、平成27年度一般会計決算額は、歳入総額1億8,554万2,455円、歳出総額1億7,975万5,899円、歳入歳出差引額578万6,556円となっています。

なお、決算に係る歳入予算に対する収入割合は99.7%、歳出予算での執行率は96.6%となっております。

決算書の5ページ、6ページをお開き願います。

事項別明細書で御説明を申し上げます。

まず、歳入でございます。

1款、分担金及び負担金、1項、分担金1億7,892万8,000円でございます。

分担金につきましては、学校基本調査の児童、生徒数の見込み数により案分し、南あわじ市が1億5,888万6,773円、洲本市が2,004万1,227円でございます。

2款、使用料及び手数料、1項、使用料55万4,800円、広田小学校、広田中

学校の体育施設使用料でございます。

3款、国庫支出金、1項、国庫補助金6万3,000円、特別支援教育就学奨励費補助金及び要保護生徒援助費補助金でございます。

4款、県支出金、1項、県補助金95万6,000円でございます。小学校体験活動事業補助金60万円、トライやる・ウィーク推進事業補助金30万円、わくわくオーケストラ教室バス利用補助事業補助金5万6,000円でございます。

5款、寄附金については、収入がございません。

6款、繰越金、464万7,377円、前年度繰越金でございます。

7款、諸収入、1項、雑入39万3,278円でございます。日本スポーツ振興センター保護者負担金、小学校に設置しております太陽光発電の売電代が主なものでございます。

次に、歳出でございます。

9ページ、10ページをお開き願います。

1款、議会費74万2,269円でございます。定例会2回、臨時会1回に係る経費、議員報酬が主なものでございます。

2款、総務費、1項、総務管理費、1目、一般管理費44万6,148円でございます。非常勤特別職の報酬、例規集の加除費用が主なものでございます。

2項、監査委員費7万円、委員報酬でございます。

3款、教育費、1項、教育総務費、1目、教育委員会費78万606円、教育委員報酬が主なものでございます。

2目、事務局費1,832万9,945円、事務局職員人件費負担金が主なものでございます。

11ページ、12ページをお開き願います。

3目、教育振興費2,097万1,280円でございます。小中学校特別支援教育支援員賃金及び児童生徒に係る各種検査委託料、教育用コンピュータ保守管理委託料、

小中学校就学援助費が主なものでございます。

12ページをお開き願います。

2項、小学校費、1目、学校管理費1,235万1,339円でございます。小学校の臨時職員の人件費、学校施設の維持管理等に係る経費が主なものでございます。

13ページ、14ページをお開き願います。

2目、教育振興費1,002万9,988円でございます。教育用備品購入費、外国人講師招致事業負担金、小学校体験活動事業補助金等が主なものでございます。

15ページ、16ページをお開き願います。

3目、施設整備費236万5,200円でございます。次年度実施予定の小学校空調設備設置工事設計委託料でございます。

3項、中学校費、1目、学校管理費1,282万4,826円でございます。中学校の臨時職員の人件費、学校施設の維持管理等に係る経費が主なものでございます。

17ページ、18ページをお開きください。

2目、教育振興費830万4,720円でございます。教材用備品購入費、外国人講師招致事業負担金、トライやる・ウィーク推進事業補助金等が主なものでございます。

4目、施設整備費7,690万6,800円でございます。中学校空調設備設置工事等に係る経費でございます。

4款、公債費1,563万2,778円でございます。長期借入金償還元金、長期借入金償還利子でございます。

5款、予備費、予備費充当額につきましては、58万1,000円となっております。

21ページをお開き願います。

実質収支に関する調書でございます。

歳入総額1億8,554万2,000円、歳出総額1億7,975万6,000円、

歳入歳出差引額 578万6,000円、実質収支額も同額でございます。

次に、22ページの財産に関する調書でございます。

土地及び建物、物品につきましては、増減ございません。

なお、決算内容の詳細につきましては、別添平成27年度一般会計決算附属資料、主要施策の成果及び予算執行の実績報告についてをごらんいただきたいと存じます。

慎重御審議の上、認定賜りますようお願いを申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○議長（小島 一君） 提案理由の説明が終わりました。

これより、質疑を行います。

質疑はございませんか。

9番、吉田議員。

○9番（吉田良子君） 決算書の11から12ページにかけて、備品購入費というのが81万8,000円、当初予算で組まれておりましたけれども、決算では、29万1,600円、執行率が約35%というふうになっておりますけれども、教育用備品購入ということは、教材にかかわる購入だったというふうに思うんですけど、なぜこのような不用額が出たのかお尋ねいたします。

○議長（小島 一君） 教育次長。

○教育次長（藤岡崇文君） 当初、故障に備えたパソコンの購入費等を置いていたわけですが、故障が思ったより少なく、パソコンの購入費が少なく済んだということでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） パソコンの関係の予算が不用であったというふうに理解いたします。

そうすると、もう1点は、決算の附属資料からちょっと質問させていただくわけですが、その附属資料の5ページに、教育委員会のあり方について課題と対応策

というふうに書かれております。自己評価ではおおむね達成できたというような評価になってるわけですが、教育委員会会議については、教育委員から積極的な調査研究や問題提起をしていただき、会議をもっと活発にしていく必要があるというふうに、今後のことについて書かれてるんですけども、こういうふうな文章表現になったその背景についてお伺いいたします。

○議長（小島 一君） 教育次長。

○教育次長（藤岡崇文君） 平成27年4月から大きく教育委員会制度が改正になったわけで、そういった教育委員長がなくなって、教育長がトップということで、教育長の任命も市長のほうからの任命というような大きな制度が改正があったわけでございまして、できるだけ市長部局も連絡、連携もとりながらというような制度になったわけなんですけども、そういった制度改革の中に教育委員さんのほうからも積極的な御意見を出して、市の教育について活性化を図っていく必要があるのではないかというような部分もございましたので、そういった部分も含めて、今現在、教育委員会の中でも教育委員さんにはそういうふうなこともこちらのほうからお願いをしているわけでございまして、そういった内容を、今回の制度改革も含めて、そういった内容を課題と対策についてのところで書かせてもらっているところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） そうすると、この会議は年何回開かれているのかということと、やはりテーマを決めて、具体的なテーマを決めて調査研究されていくのか、大枠で調査研究されていくのか、今後の方向性についてはどういうことになるのでしょうか。

○議長（小島 一君） 教育次長。

○教育次長（藤岡崇文君） 教育委員会の定例会は、月1回、定例会を開催しております。それと、また臨時に協議しなければならないことにつきましては、臨時会を開いて協議をしているところでございます。

また、御意見を求めたいというような内容をこちらのほうから資料提供したり、ま

た当然、教育委員さんのほうからも、教育委員会の先生方のほうからも、こういったことで協議をしていただきたい、そういうのがいただきたいわけなんですけども、今、具体的にはそういった内容がないんですけども、こちらのほうから学校の関係でありますとか、市の教育についてとか、いろんな分野があるわけなんですけども、そういったことについて、こちらのほうからまだ今の段階では、提案させていただいて、意見をいただくというようなところでございます。

○議長（小島 一君） ほかに質問はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） これで質疑を終結します。

お諮りします。

本案については、討論を省略し、直ちに採決したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 異議なしと認めます。

よって、さよう決しました。

これより、認定第1号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第1号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

日程第4、議案第6号、平成28年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）を議題とします。

本案についての提案理由の説明を求めます。

教育次長 藤岡崇文君。

○教育次長（藤岡崇文君） ただいま上程いただきました議案第6号、平成28年度南あわじ市・洲本市小中学校組一般会計補正予算（第1号）について、提案理由の御説明を申し上げます。

それでは、1ページをお開きお願いいたします。

第1条で、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1,333万3,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ3億1,302万9,000円とするものでございます。

第2条、地方債の追加でございます。

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、3ページ、第2表、地方債補正の表のとおりでございます。

歳入歳出予算について、事項別明細書をもって御説明を申し上げます。

5ページをお開き願います。

まず、歳入でございます。

1款、分担金及び負担金、1項、分担金、1目、分担金8,911万2,000円を減額し、1億9,876万6,000円とするものでございます。

3款、国庫支出金、1項、国庫補助金、1目、教育費国庫補助金320万6,000円を減額し、3,352万8,000円とするものでございます。小学校費補助金については、空調設備設置工事に係る学校施設環境改善交付金が不採択となり、減額するものでございます。また、中学校費補助金については、大規模改造工事に係る学校施設環境改善交付金の内示額の決定により、282万7,000円の追加でございます。

6款、繰越金、1項、繰越金578万5,000円を追加し、578万6,000円とするものでございます。前年度の繰越金の追加でございます。

6 ページをお開き願いたいと思います。

8 款、組合債、1 項、組合債、1 目、教育債 7, 3 2 0 万円の追加でございます。

広田中学校校舎大規模改造 1 期工事に係る補正予算債の追加でございます。

次に、7 ページをお開き願います。

歳出でございます。

3 款、教育費、2 項、小学校費、3 目、施設整備費 1, 1 3 9 万 5, 0 0 0 円の減額でございます。広田小学校空調設備設置工事費の入札による減額でございます。

3 項、中学校費、4 目、施設整備費 1 9 3 万 8, 0 0 0 円の減額でございます。広田中学校大規模改造 1 期工事の工事監理業務及び 2 期工事の設計業務委託料を精査し、減額するものでございます。

以上で、平成 2 8 年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第 1 号）について、提案理由の説明とさせていただきます。慎重に御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（小島 一君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 質疑を終結をいたします。

これより討論を行います。通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより、議案第 6 号、平成 2 8 年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第 1 号）を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第6号、平成28年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

日程第5、一般質問を行います。

通告順により、議長より指名します。

9番、吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 一般質問を行います。

まず最初に、広田小学校、中学校のグラウンド整備についてであります。先日、次世代を担う子供たちが政治や行政について関心を持ち、学ぶ機会を提供するために、南あわじ市議会として、第2回子ども議会を8月6日に開催いたしました。市内の16の小学校の小学生から意見や要望を聞き、今回は、子ども議員に対して議員が答弁を行うというふうにしました。

今回、広田小学生からは、公園の整備、また、ごみステーションをふやしてほしい、障害者用の駐車場に障害者以外の人が車をとめないように工夫してほしいという3点の質問でありました。

まず、最初の公園の整備でありますけれども、公園を整備してほしい、その背景に、子供が率直に意見として、「学校の運動場は中学校と一緒に使っているのに、部活をしていると遊べません。遊ぶところをふやしてほしい。」というものであります。

昨年、第1回の子ども議会でも、運動場の整備について意見や要望があり、昨年の議会で、運動場の状況についての管理者の考え方が答弁としてされました。その中で、平成27年10月28日、広田自治会の三役の方、広田地域づくり協議会、小学校、中学校のPTA会長、学校長、広田小中学校の教育環境の検討委員会を開催されたと聞いております。

学校現場と教育委員会の話し合いの場が設定されたわけではありますが、この会議以降の動きについてお尋ねいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 学校教育課長の廣地でございます。

その後の取り組みにつきましては、まず、小中学校、小中連携一貫教育に向けての推進会議、これが小中学校の先生方、校長先生、管理職含めて会を開催されております。その中には、この運動場整備についてのことも含まれておまして、運動場のあり方について等々、議論されております。

その中には、今、運動場、野球の練習をされてますけれども、その横には小学生が遊べる、いわゆる遊具を使ったところがあります。そこを有効に使いながら、かつ、子供たちが安全に過ごせる方法について、小中学校でそういう検討をしていただいているところでございます。

その内容につきましては、教育委員会としても、そのような管理を継続しながら、その会議を進めているというところでございます。

また、地域のほうですけれども、昨年度、環境検討推進会議を開催いたしましたので、その中身について、広田地域の自治会において報告を、参加された役員から報告をされております。

そういった中で、今後、再度、環境整備に向けた検討協議会を自治会、地域づくり協議会、学校、そしてPTAの役員を踏まえた次の会を12月に予定をしているところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 今、小中学校の教育環境の検討会議を12月に実施するということでもありますけれども、約1年以上たつての開催ということでもあります。前回の質問のときにも、この会議のあり方、展望についてお伺いいたしましたが、そのときは具体的な答弁はなかったわけですが、これまで長い間かかってこの環境整備をどうするか、グラウンド整備をどうするかというのは、地域でも大きな課題であって、一足飛びにはなかなか解決しない問題も多々あるかと思っておりますけれども、これだけの期間をかけるというか、そうしますと、自治会なりPTAの役員さんなり、それぞ

れがメンバーが交代していくというふうなことになるって、継続性もなかなか生まれな
いのではないかと思いますけれども、このような会議の今後の持ち方についてはどの
ようにお考えなのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 一つは、継続性という話がありましたけれども、今、
広田地区の自治会につきましては、会長については、2年という形になっております
ので、引き続き、継続をして、この会議の内容について自治会の皆さんにお伝えをし
ているところでございます。

それから、会の中身等につきましては、広田小中学校の、特に環境整備を含めた教
育環境の全ての検討会議というふうな名称を持っておりますので、現在の小学校校舎
の大規模改造工事の様子や、また、中学校の空調設備、そして、今年度については、
小学校の空調設備等々、今後、中学校校舎の大規模改造の2期工事、これから予定し
ているわけですが、そういった中で、さまざまな校舎を中心とした施設設備を
実施する必要もありますので、緊急性、安全性、必要性を考慮して、優先順位をつけ
ながら、計画的に小中学校の環境整備事業を実施していくと、その中に、今挙げてお
ります子供たちの遊び場というの、一つの大きな課題として残っておりますので、
引き続き、皆さんに御意見をいただきながら、検討しているというところでございま
す。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 具体的に定例的に会議を持ってというような答弁もなかったわ
けですが、全体として、教育環境をどうするかというところの答弁であったか
というふうに思います。ある一定、絞り込んでの問題提起なり、そういう解決に向け
た考え方も示していくべきではないかというふうに思います。

それと、前回の私のグラウンド整備の質問の中で、学校現場と教育委員会の話し合
いの設定ということも言われておりましたけれども、このことについてはどういうふ

うに進められているのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 教育委員会と学校教育、教育委員会とのこの件についてのことですけれども、最初に申しあげました小中連携一貫教育の推進会議、小中学校と取り組んでおりますけれども、その中身等について、教育委員会も報告を受けて助言をしているところでございます。

同時に、教育委員会としては、学校訪問をさせていただいて、学校経営の様子、そして、各学校の小学校、中学校の課題をこちらで把握させていただいて、協議をしているというところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） なかなか前に進みにくいような話であります。それで、この先ほど言った子ども議会については、市長、副市長、教育長が同席されまして、子供たちの切実な声も聞いてもらったわけですが、そこで管理者である市長にこのグラウンド整備についてのお考えをお聞かせいただきたいというふうに思います。

○議長（小島 一君） 中田市長。

○管理者（南あわじ市長 中田勝久君） 今も課長から答弁させていただいたとおり、双方、あそこの現状を見ますと、簡単にあのグラウンドを広げるということは至難の状況であろうと思います。やはり時間をかけて、地元の人たちの理解と協力がなければいけません。一方的にこちらが幾ら絵を描いても、そういうふうな歩みはできません。ですから、地元と十分協議をしながら、早急に進めていくと、こういう今の状況であります。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 市長、管理者なり、そういう方々の熱意というのも地元伝わっていく必要があると思うんですけれども、副管理者である洲本市長の竹内市長について、この問題についてどのようにお考えなのか、お伺いいたします。

○議長（小島 一君） 副管理者、竹内通弘君。

○副管理者（洲本市長 竹内通弘君） 今、管理者である中田市長からもおっしゃいましたように、やはり地元の協力を得ながらやっていくべきで、何がどういう事業でありましても、地元の協力が得られないと、本当に私どもはこういうことをしたいと思っております。やはりなかなか難しい面があります。まず一番に、地元とともに考えていきたいと私は思っております。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 先ほど申しあげましたように、一足飛びになかなか行く話ではありませんし、答弁がありましたように、地元の協力、地域挙げての取り組みが課題解決につながっていくのかなというふうに思っております。それだけに、先ほど言われておりました広田小中学校の教育環境の検討会議、これをやはり定期的に開催し、意見交換をしながら、やはり解決策につなげていくということが、子供たちが安心して運動場で遊べる環境づくりにつながるものだというふうに思っておりますので、ぜひその点、よろしくお願ひしたいと思います。再度の答弁をお願いいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 広田小中学校教育環境の検討会議をしっかりと開催して、地元の皆さんに今の課題をしっかりと理解していただいて、御協力、検討いただけるよう、今後進めていきたいというふうに思います。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） ぜひお願ひしたいと思います。なかなか難しい課題だと思いますが、よろしくお願ひいたします。

次に、確かな学力の向上ということについてお伺ひいたします。

南あわじ市は、平成27年度を対象にした平成28年度南あわじ市の教育点検評価という、こういう冊子を出されております。その中で、南あわじ市の組合立も含めてですけれども、どういう環境にあるか、それで、今後どういうふうな教育行政を行っ

ていくかという課題がここに示されているわけですがけれども、次世代の人材を育てる教育、活力と生きがいを育む教育などというふうにも書かれております。

それで、確かな学力の確立と自立していける力の育成の取り組みについて、具体的に質問させていただきます。

学力状況調査結果、一般的には学力テスト、全国一斉学力テストと言われておりますけれども、この教育点検評価の中にもそのことが書かれております。学力向上に向けて、モデル的に小学校2校において地域の人材を活用した放課後の学習向上方策に取り組んだということも書かれております。その全国学力テストについて、南あわじ市としてどういうふうな評価をされているのかお尋ねいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） まず、全国学力テストの目的というのは、義務教育の教育機会均等と、その水準の維持向上の観点から、全国の児童生徒の学力・学習状況を把握・分析して、教育施策の成果・課題を検証して、その改善を図っていくということでございます。

すなわち、南あわじ市におきましては、学校における児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善を図るため、いわゆるそれらの取り組みを通じて、継続的な検証の改善サイクルをつくっていくということで取り組んでいるところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 全体的にどういうふうな状況にあるのかということの学力テスト調査というふうな答弁がありましたけれども、このテストを受けますと、その答案、解答というのは、どういう流れになっていって、子供たちにどういうふうに戻されていくのか、具体的にお伺いいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 基本的には、学校のほうにその分析結果も含めて送付されます。それら、子供たちにつきましては、答案用紙等々返却いたします。お渡し

をしております。そのときに、解答も含めて、再度、問題を解いたりしながら、子供たちに指導しているというところでございます。

また、学校においては、それらのことにつきまして、学力向上対策委員会、各学校に設けられた委員会の中で、ことしの結果を踏まえた中で、どのようなところに課題があるのか、どういうところがよかったのか、そういうことをしっかり分析した上で報告を学校の中で取り組んでいるというところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 子供たちにテストが返されるのは、4月に実施して、かなりの期間がたつと思うんですけど、それら、幾らぐらい期間がたつての返却というふうになるのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 4月にテストがありましたら、その問題等々についても、公表されている部分については、その中で、学校の中で指導する場合がありますが、返却につきましては、文科省のほうでの採点等が全て終了した後ということで、8月、9月ごろですかね、上がってくるのは。それから、それぞれ個人の成績につきまして、どういう課題があったのか、一人一人のつまずきポイントというんでしょうか、そういったところも担任の先生や学年団、あるいは、学校の先ほど申し上げました学力向上対策委員会等で分析をした後、返却という形に、ほぼそういう形で取り組んでいるということでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 具体的に子供たちにどういうふうなところにつまずいているかというような分析をしながら返しているという話がありました。

そこで、南あわじ市は、がんばりタイムの事業というのもされております。27年度は50万の予算で、平成28年度は114万というふうに、これは県の事業というところで、県の支出金がほとんどでありますけれども、これについて、対象学校とい

うのは、全ての学校でされてるのか、組合立も含めて全ての学校でされてるのか、地域限定でされてるのか、その点についてお伺いいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 全ての学校ではございません。まず、希望を調査いたしまして、その中で、県のほうで決めていただいているというところがございます。組合立広田小学校、広田中学校においては、南あわじ市ががんばりタイム、放課後の学習タイムですが、これはしておりません。現在行っておりません。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） そうすると、予算がふえたということになりますと、この組合立は関係ないという話でありますけれども、学校全体として校数がふえたというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） そのとおりです。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） それと、南あわじ市で学力向上プロジェクトというのが平成27年度はその予算がありませんでしたが、平成28年度には230万、これは市の一般財源を使ってやっているわけですが、その中では、ゆずりはプロジェクト補助金6校というふうになっておりますけれども、この中に組合立が入っているのかどうかの確認をお願いしたいと思います。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） ゆずりはプロジェクトのことですか。広田小学校は今年度、取り組んでおります。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） そうすると、このゆずりはプロジェクト補助金6校120万ということは、1校当たり20万というようなことになるかと思うんですけれども、こ

の広田小学校で具体的にどのようなことに活用されているのかお伺いいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 基本的に、新学習指導要領が間もなく改訂されるということで、それに向けて、今回、アクティブラーニング、いわゆる講義式の授業から子供たちが主体的に学ぶ、学び続ける授業をつくっていくという形に大きく変わってきます。そういった新しい授業の形、授業改善、アクティブラーニングについての研修をしていただいているというふうに思います。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） そうすると、そういう先生方の研修のための補助金というふうに理解してよろしいのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） ゆずりはプロジェクトにつきましては、教職員の資質向上のための予算ということでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） それと、学力到達度テスト手数料、小学校4年生から5年生にかけて50万という予算が組まれております。これは、組合立も含めて、小学校の4年生から5年生の児童に対して市独自で学力到達度テストを行うというふうに理解するわけですが、この手数料についてはどこに支給されるのかお伺いいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 南あわじ市全体として、教育施策の大きな拡充を図って、子供たちの将来に役立つ学力、そういった観点から、いわゆる力を知り、教員も子供も力を伸ばす到達度テスト、4年生、5年生の国語、算数で行っております。そういった予算につきましては、学力向上プロジェクトの中で、市のほうで予算を立ててやっているというところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） その50万という手数料については、具体的にどこに支払うというか、どういうところでその手数料という金額は設定されたのかということについてお伺いしたんですけれども。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 到達度テストにつきましては、結果をその業者のほうで採点もしていただいて、いろいろな分析をしていただいた結果をいただくという形になっておりまして、現在は、教科書会社ですね、現在、南あわじ市、組合、教育委員会もそうですが、採択している教科書会社に依頼をしていますので、その費用でございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） テストをする、先生方は授業をする、子供たちがどれだけ理解しているか、そういうことを踏まえてテストをして、子供の到達度、それぞれ個人の到達度を見るというのが一つのテストのありようだと思うんですね。子供がどこでつまづいているか、どれだけ授業が理解できているか、そういうことをテストという形で一つの評価をしていく部分があると思うんですけれども、こういうふうに統一テスト、到達度テストを行う、業者に委託する、その分析というのは、また先生の負担にもなってくるのかなと思ったりもするんですけれども、ここ、こういうふうなテストを改めて市独自でするところの意義については、どういうふうな考えなのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） まず一つは、やはり学力の向上というものを市としても力を入れていきたい、確かな学力、将来に生きる力をつけるというところがございます。そういった中で、6年生は全国学力状況テストがありますけれども、やはり4年生、5年生の段階からしっかりと一人一人の子供たちの課題を把握して、先生方

もそれらについてしっかり指導していく、あるいは、保護者も、子供たちが今どういうところにつまずきがあるのかということを知って、子供も知って、学習にしっかりと向いていく形をつくっていくことによって、全体的な学力の向上につながるという観点から、この学力向上プロジェクトの中で小学校4年生、5年生の到達度テストを導入したというところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 全国一斉学力テストの学校間の公表とかいうふうな流れにも変わってきておりますけれども、こういうふうに市独自で子供たちの学力をつけていく、そのために、どこらでどういうふうな結果になっているかというのは、一つのテストの成果としてあらわれてくるわけですが、そういう学校間の競争とか、そういうところには及ばないというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 学校間の競争とか、そういうことは一切ございません。それぞれの学校で、それぞれの子供たちの学力を向上するためのものがございます。

今、この間取り組みまして、先生方のほうからは、懇談会等で子供たちの細かな観点別のいろんな状況を保護者の皆さんに伝えることができたというふうなことで、よかったという話を聞いております。これらをしっかり分析して、これからの子供たちの学力向上につなげるということで、この到達度テストにつきましても、学力向上対策委員会のほうで、学力向上プランをつくって取り組んでいただいているというところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） それと、この学力向上プロジェクトの中に、図書購入費、言葉の力を育む読書推進ということで、60万円組まれておりますけれども、これは、組合立も含めて、小学生に、学校にそれぞれ分配するというような形の予算というふうに理解してよろしいのでしょうか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 通常の図書費にプラス3万円というところで、1校ずつに入れております。特に、子供たちが興味を示します新刊図書等の購入に役立てていただいて、学力向上につなげていくという取り組みでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） そしたら、先ほど申し上げたがんばりタイムのことにちょっと戻らせていただくわけですが、基礎学力の向上ということで、そういうふうな取り組みをしているというのはよくわかるんですけども、この点検評価の中に、がんばりタイムの中で人材不足ということも明記されて、課題として挙げられているわけですが、それは、やはり先生、どういうふうなことで人材不足というふうな表現になっているのかお尋ねいたします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 放課後のがんばりタイムですので、限られた時間帯での指導となりますので、特に地域人材の中でそういう方を募集して取り組んでいただいています。特に、子供たちの教育にかかわりますので、最初は教員免許を持った方とか、あるいは、臨時講師や時間講師をしている方とか、そういうふうなこともありますけれども、それにとらわれず、人材を探していけば、何とかなると思うんですけども、最初の段階で、そういうところから始まりましたので、なかなかすぐにその時間帯に来ていただける方がなかなか見つかりにくい部分もあったというところから、そういうふうな表現になったというところでございます。

○議長（小島 一君） 吉田良子君。

○9番（吉田良子君） 子供たちがみずから学び、考えるという力をつけていく、わかる授業と楽しい授業ということとあわせて、みずから考え、仲間とともに助け合い、進んで行動できるということが南あわじ市、洲本市の小中学校の姿になってくるのかなというところであります。

その中で、確かな学力の向上については、新しく予算も生まれ、子供たちが授業を受ける、また、新たなテストも受けるというようなことになってるんですけども、ぜひ今後、到達度テストというのは、引き続き行われるものかなというふうに理解するわけですけども、テストのためのテストというふうにならないように、また、学校間の競争につながらないように、ぜひお願いしたいということを申し上げて、質問を終わります。

○議長（小島 一君） 吉田良子君の質問が終わりました。

これで一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。

平成28年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を閉会します。

副管理者 洲本市長 竹内通弘君より挨拶がございます。

○副管理者（洲本市長 竹内通弘君） 閉会に当たって、一言御挨拶を申し上げます。

本日の平成28年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会におきましては、議員の皆様方におかれましては、お繰り合わせ、御出席をいただき、平成27年度一般会計の決算認定、そして、平成28年度補正予算に御賛同いただき、ここに閉会できますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、当組合におきましては、昨年度の中学校に引き続き、今年度、夏休み期間中に、小学校におきましても、空調設備設置工事が完了いたしました。ことしの夏は、特に例年になく猛暑となったため、学校現場から喜びの声が届いていると報告を受けております。今後は、環境整備も相まって、子供たちの学力向上に向けた取り組みも努力してまいる所存でございますので、議員の皆様方におかれましても、御指導、御鞭撻をいただきますよう、よろしく願いいたします。

本年も残すところ、後1カ月余りとなりました。時節柄、何かとお忙しくなると思いますが、お体御自愛いただきまして、御活躍いただきますように御祈念申し上げます。

して、閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（小島 一君） 閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会では、平成27年度一般会計歳入歳出決算認定、また、平成28年度一般会計補正予算について御審議をお願いいたしましたが、議員各位の御精励により無事議了し、閉会を宣告できましたことはまことに御同慶の至りでございます。

朝夕の寒さに、冬の到来を感じるようになってまいりました。ことしの夏のように猛暑であったその年の冬は、厳しい寒さになるというふうに言われております。間もなく師走となり、何かとお忙しいとは存じますが、議員各位初め執行部の皆様方にはお体を御自愛なされまして、ますますの御活躍を心よりお祈り申し上げ、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

午前11時10分 閉会